

林 芋村先生の略歴と歌碑について



林 芋村先生

「深雪せる 野路に小さ記 沓の跡」

われこそ先に行かましものを」

林 芋村（芳弥）先生は、明治十九年に飯田市（旧千代村）に生まれ、千代実業補習学校を卒業後代用教員として、千代で教職につかれました。

その後、老母を連れて現在の平谷湖近くに引越してきましたが、当時は原野の中の一軒家でした。ここを墳墓の地と定めて、家の周りの原野を開墾し、大正二年四月から十六年間、平谷の代用教員・尋常科正教員として勤められました。

昭和四年四月三日、区から貸与を受けた山林の植林作業中、倒れていた大きな材木に跳ねられて、四十四才の若さで亡くなりました。

先生は貧しさの中で常に教育の真髄を目指し、子どもたちへの思いやりや、教師としての道を問いつづけられました。

また、短歌をよく詠まれ「林 芋村歌集」には、教育への真摯なとりくみの中から詠んだ歌がたくさんあります。この短歌も、その中の一つです。

説 明 板

林芋村名ハ芳弥 明治十九年飯田市千代二生ル 大正二年四月ヨリ本校子弟ノ教育ニ尽瘁没頭スルコト十有六年 本村ヲ墳墓ノ地ト定メ菖蒲ヶ沢ノ原野ニ住居ヲ移シ 素朴熱誠常ニ子弟ノ愛育教化ニツトメ村民敬慕ノ的タリシニ 昭和四年四月三日不慮ノ災難ニ遇ヒテ没ス 歳四十四歳 同僚西川宗繁氏芋村ノ崇高ナル教育愛ヲ敬崇措クアタワズ 遺詠ノ一首ヲ碑ニ刻ミ 私費ヲ以テ建立シ聖職ノ人芋村ノ徳ヲ讃エタリ

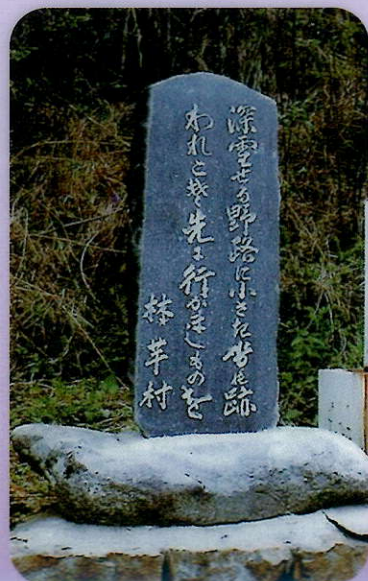
昭和六十一年国道改修ニヨリ歌碑ヲ山付キニ移シ 委員会ノ所轄トナシ永ク村民ノ指標トス

昭和六十一年十二月

平谷村教育委員会

深雪せる野路に小さ記沓の跡
われこそ先に行かましものを

林 芋村



深雪せる

林 芋 村 作詞
平谷学校職員有志 作曲
田 中 達 郎 編曲

♩ = 88

mp

み ゆ き せ ー る の じ に ち い さ き く つ の あ と わ れ

こ そ さ き に ゆ か ま し も の を わ れ

わ れ こ そ さ き に

mp

こ そ さ き に ゆ か ま し も の を

rit.



歌曲「深雪せる」は、昭和五十八年四月、林芋村先生の短歌に、当時の平谷小中学校の職員宮下和男先生・伊藤可主也先生・山岸静枝先生・堀千恵子先生が共同で作曲しました。その後、平成三年四月、田中達郎先生（昭59～61平谷小）によって補修編曲され、伴奏譜が付けられました。